

貫井図書館 図書館利用者懇談会

- 1 日時 令和2年11月5日(木) 午前10時～午前11時30分
- 2 場所 貫井図書館 視聴覚室
- 3 参加者 利用者 24名 内ガイドヘルパー1名
図書館 4名
(貫井図書館長、館長代理2名、総括学校支援員)
- 4 テーマ 「これからの貫井図書館を考える」
- 5 配付資料 (1) 貫井図書館だより
(2) 美術パスファインダー
(3) 令和元年度下半期～2年度上半期
一般展示まとめ、主な一般向け行事まとめ、主な児童・青少年向け行事まとめ
(4) おとなのためのおはなし会チラシ
(5) 「ママをやめてもいいですか」上映会チラシ
(6) 「天地創造デザイン部」上映会チラシ
- 5 次第 (1) 貫井図書館長挨拶
(2) 図書館職員紹介
(3) 図書館事業説明
①練馬区立図書館のコロナウイルス感染症対策
②子供たちや子育て世代へのサービス
③一般、高齢者、障害者サービス
④その他施設に関する事など
(4) 懇談

貫井図書館利用者懇談会 会議録

1 貫井図書館長挨拶

本日は館長との懇談会にたくさんのご出席を頂き、ありがとうございます。少し密な状態ですが、窓と出入り口のドアも開けて換気しておりますのでよろしく願いいたします。

練馬区立図書館では10月27日～11月9日の読書週間に合わせて、区内のすべての図書館で館長と利用者の皆様との懇談会を行っております。貫井図書館では「これからの貫井図書館を考える」ということで懇談会を行わせていただきます。たくさんのご意見を頂ければと思います。

なお、本日は貫井図書館についてお話を頂く場としております。全館に関わる図書館サービスのお話については、11月7日土曜日午後2時から光が丘図書館で懇談会が行われますので、そちらにご参加頂ければと思います。本日、全館に関わるお話が出た場合は、私の方

から光が丘図書館に内容を伝えさせていただきます。後日、ホームページで回答させていただきますので、ご了承ください。また報告書を作成するために記録をとらせて頂きます。

資料のほかにアンケートも配布させていただいておりますので、お帰りの際に回答していただければと思います。また、今年度はコロナウイルスのために、参加者から感染者が出た場合にご連絡ができるようにご連絡先を記入していただく紙も配布しています。ご記入いただけたら、一か月保管させて頂いて適切に処理させていただきますので、よろしく願いいたします。

では、次第に沿って進行させていただきます。

2 図書館職員紹介

館長、館長代理、総括学校支援員、館長代理(記録担当)

3 図書館事業説明

- (1) 練馬区立図書館のコロナウイルス感染症対策
- (2) 子どもたちや子育て世代へのサービス
 - ・よみきかせ、おはなし会、赤ちゃん向けのよみきかせ
 - ・近隣の文庫、保育園、地区区民館、児童館での出張よみきかせ
 - ・学校支援モデル事業
- (3) 一般、高齢者、障害者サービス
 - ・「貫井図書館だより」、「美術パスファインダー」などの発行
 - ・様々な地域の施設と連携してイベントの開催
- (4) その他施設に関すること

4 懇談

利用者 事業の中でテレビ局とのイベント「情報の海の泳ぎ方」について聞きたい。私は、図書館は情報教育の拠点であるという考えを持っておりまして、どのようなイベントだったか簡単に説明して頂けますか。

図書館 テレビ局からお二人講師で来て頂き、実際にあった海外の噂話のような報道を取り上げて、それが本当なのか嘘なのか、どのように調べれば真実にたどり着けるかを講演して頂いた。子どもたちに対して「誰に何を質問するか、どのように質問するか」など、うまく誘導して進めてくださいました。子どもたちも活発に発言を行っており、フェイクニュースに踊らされないこと、また取材をすることの面白さなどを実感できるワークショップとなりました。

利用者 ありがとうございます。

利用者 託児サービスについて、区内 12 館ある図書館の中で行っているのは貫井図書館だけでしょうか。また、利用率はどれぐらいでしょうか。

図書館 最初は貫井図書館が始めまして、現在は大泉図書館と関町図書館でNPO法人「手をつなご」と行っております。貫井図書館の場合、視聴覚室で定員 6 名、午前 9 時半からと 11 時からの二回で行っています。保育士さんは「手をつなご」

さんからいらして頂いておりますが、その日の参加人数、月齢などで保育士さんの人数は変わります。コロナ以前は定員いっぱいの申込を頂いて人気でした。コロナ後は再開を迷いましたが、「手をつなご」さんも感染予防をしっかりとやって頂いておりましたので、夏から再開をしております。若干申し込みは少なめで、当日キャンセルもあります。アンケートではありがたいとの声を頂戴しております。また、日数を増やして欲しいという声も頂いており、大変人気の事業となっております。

利用者 私は貫井町会文化部の担当をしているのだが、我々は「我が町貫井」というテーマで歴史などをまとめてきた。町会では発表会をやっているが、今のお話を聞いてこういうところで皆さんにご紹介するのも良いのではないかと思った。現在、場所が制限されており、集まる部屋を取るのが難しい。できればこういった視聴覚室を借りられればありがたいと思う。地元愛を大事にしたいと思っているので、そういった機会を頂けたらありがたいと思う。

図書館 こちらの視聴覚室をご利用ということでお申し込み頂けましたら、団体登録をして頂ければ1時間 600円と有料にはなりますが、構成員の年齢によっては半額になるなど規定があります。もし図書館も一緒に企画に参加させて頂くということになりましたら、またいろいろと考えることも出来ますので、町内会+図書館で「我が町貫井」の講座など考えて頂けたらありがたいと思います。現在、貫井町会さんと向山西町会さんには回覧板に「貫井図書館だより」やイベントのチラシを入れて頂いております。ぜひ今後も何かございましたら、お声がけください。

利用者 ありがとうございます。

利用者 視聴覚室の利用についてお伺いしたい。10月に館長からご連絡を頂いて、定員いっぱいまで使用してもよくなったということだったが、講座を企画する場合、この視聴覚室の定員は何名になるか。

図書館 公に出ている数字はここで持っている椅子の数となっておりまして、70ほどなっていますが、実際はそんなに入ることは出来ません。今日のご参加人数で30人ぐらいとなっておりますが、コロナ以前は50名ほど入れることもあり、盛況であればもっと多かった時もございますので、こちらとしては50名程度が目安と考えております。

利用者 50人だと結構密になると思うが、入れるのは可能か。

図書館 練馬区は、現在、イベント等の参加人数の制限を、定員の1/2とさせていただいております。また、イベントの状況にもよりますが、活発にお話をするイベントか、映画等を静かに鑑賞して頂くかなど、違いが出てきますので、そのあたりの感染予防については開催される団体さんにお考え頂くということになります。

利用者 ありがとうございます。

利用者 ご近所ウォーキングを企画して行ったりしている。貫井池地域の散策について、参考にしたいのでもう少し詳しく聞きたい。

図書館 歴史関係の講座を何度もお願いしている方を講師にお呼びして、一緒に歩いて頂きました。現在は住宅地となっている、かつてあった貫井池という巨大な湧水池

の跡地、今は暗渠になっている貫井川が石神井川に合流するところなどを見て、橋の名前の由来などの説明を聞きながら散策したイベントでした。

利用者 参加人数はどれぐらいだったか。

図書館 細い道などを歩くのでできれば15名から20名が良い。当日は20名ほどで開催しましたが、交通量などにより15名程度が適当だと思います。

利用者 高齢者が多いか。

図書館 比較的高齢者が多かったが、若い方の参加もありました。

利用者 ありがとうございました。

利用者 地域の歴史には興味はあるが、こういう講座を行った後、展示などは行うのか。参加できなかった人も見られるような展示が欲しい。

図書館 図書館のホームページに簡単に実施報告はしておりますが、今後考えていきたいと思います。レジュメを欲しいという方には差し上げたことはございます。

利用者 私が住んでいる富士見台やお隣りの高野台、家族が住んでいる谷原地区などは図書館へき地と呼ばれていて、歩いて行けるとところに図書館がない。距離的には南田中図書館が近いかもしれないが、貫井図書館の図書館だよりを富士見台などの回覧板に入れてもらうことはできるか。

図書館 それは町会とも相談させていただきます。

利用者 私が住んでいる地区で図書館を利用する方は、ほとんど貫井図書館を利用している。周りの若い人たちは恐らく託児サービスなども知らないままだと思うので、周知して頂けるとありがたい。

図書館 富士見台町会にご連絡をしてみます。

利用者 ありがとうございます。

利用者 先ほど大活字本の紹介があったが、私はケアマネージャーとして埼玉県で登録をしているのだが、以前ケアプランを作成した際に訪問した高齢の方から、読書が好きなのだが視力が弱ってきたという話を聞き、大活字本を紹介したことがあった。その際に大活字本という本があるという情報が知れ渡っていないと思ったため、(前勤務していた)石神井図書館ではそちらに力点を置いて広報してきた。支援事業所にそういった情報を提供していく、あるいは外出困難な方や障害をお持ちの方にブックリストなどを提供していくなどを地域包括支援センターと連携して行いたかったという気持ちがある。そういった取り組みができるのであればお願いしたい。

図書館 地域包括支援センターと相談をさせていただきます。

利用者 いくつか質問がある。まず一つは、現在行われている図書館総合展にオンライン参加した際、所沢に博物館と美術館、図書館が一体となった施設がオープンすることを知った。こういった社会教育に関わる施設が一体となって、社会への貢献度をどのように上げていくかということを考えさせられた。こちらで行っている美術館との共催のイベントなどもいいが、講演会以外にも社会教育という面で発信していくものを検討して欲しい。

二つ目は、貫井図書館で受けたレファレンスをまとめているものはあるのか。そ

ういったものがあつたら良いと思う。

三つ目。毎年、商店街の店が閉店していき、個人的な店がどんどん成り立たなくなっている状況である。先進国の図書館の役割には、こういった地元の店などをどのように活性化していくか考えるプログラムがある。今まではこういったことは図書館の役割にはなかったが、今後、中村橋や富士見台などの商店街との繋がりが出来ていくなら、お店が存続できることを一緒に考えられるような図書館になって欲しい。そういったプログラムを作成することは出来るのか。

図書館 以前から美術館さんとの共催で企画展の内容に合わせたワークショップを開催させて頂いたりしております。今年度はコロナの関係で実現できておりませんが、今後も開催させて頂きたいと思っております。今、練馬区の方で図書館全体の今後の構想を検討する会というのができ、活動が始まっていると聞いております。また、美術館・図書館の大規模改修に絡みまして、新しい施設のコンセプトの中にも「美術館と図書館の融合化」という方向性は出ていると伺っているので、新しい施設になった際はそういった方向性が強まるのではないかと聞いております。今、計画の方が先延ばしになっているようですが、設計の話が出てくればもう少し詳しい話が分かると思っております。

レファレンスにつきましてですが、現在練馬区立図書館では図書館システムにレファレンスの記録を入力していております。貫井図書館でも特徴的なレファレンスを受けましたら、そちらに登録していております。その中からいくつかご紹介したいと思えます。

例えば「昔の古地図が見たい」といった地域に関するもの、「どんど焼きについて調べたい」といった年中行事に関するもの、難読漢字の読み方について、また「E Uの個人情報に関する本を探している」などもありました。最近は「ご自分のルーツを探している」という方がいたり、かなり多岐にわたっております。

次に、三つ目の商店街のお店が閉店していくといった問題に図書館としてどこまで協力できるかという事ですが、現在は簡単にお店紹介という形をさせて頂いております。そちらを見て来店されたという話もございます。お客さんと呼び込む一つのきっかけにはなっていると考えております。今後、何かしらレファレンスという形、あるいはビジネス支援という形でお話ございましたら、地域の商店街の活性化のためにご協力はしていきたいと考えております。

利用者 ありがとうございます。今のお話を聞いて、かなり積極的に目を向けていると感じた。

利用者 貫井子ども家庭支援センターです。私共は子どものために特化した施設で、0歳から3歳の子供が遊びに来たり、18歳までの子どもがいる家庭の支援などを行っております。子育て世代に特化した施設ですが、商店街との連携は出来たらいいと考えている。例えばベビーカーで買い物しやすいお店や、自転車を停めておける場所、空き店舗の利用などの情報共有。私共の施設はどうしても利用する世代や年齢が制限されるが、商店街や図書館は年齢の制限がないので、地域で世代を超えての交流ができる施設になってもらえたらと思う。

図書館 貫井図書館は、スペースが狭く、ベビーカー置き場もきちんと用意できておりません。廊下部分にある飲食可のベンチに、図書館利用者ではないけれどご飯を食べによくいらっしやっている方などもありますので、さまざまな方がいろいろな目的での場所を求めているというのは感じています。施設の制限があるので、今の段階ではそういった場所を広く作っていくのは難しいのですが、新しい施設になる際はそういったところにも配慮ができ、開かれた施設になればと図書館としては考えています。

利用者 図書館の対面朗読について。先日、例会で対面朗読が突然キャンセルになったという話があった。対面朗読については光が丘図書館が一括で管理しているが、そういった緊急事態の際は貫井図書館で対応してもらえるといいのだが。

図書館 どちらがキャンセルされたのでしょうか。

利用者 ボランティアが急に来られなくなったと聞いている。その連絡が光が丘図書館と利用者の間でうまくいっておらず、利用者が部屋で待つことになったという話だ。その際、ヘルパーさんがいらっしやったから帰れたが、捕まらなかった場合は待つことになる。これはちょっと問題だという話になった。

図書館 代替りの朗読を図書館のスタッフでできないかというお話でしょうか。

利用者 一番いいのはそうだ。代替りの方を見つけてまた図書館へ来てもらうというのは難しい、図書館の方が忙しいのは十分わかっているが、緊急的に対応して頂けないかと思っている。

図書館 朗読をできないか、ということでしょうか。

利用者 いえ、朗読ではなく、ご希望のものを読むだけ、読むだけという言い方も変だが。

利用者 私はそのことでいつも光が丘図書館に、貫井図書館で行う対面朗読だから、貫井図書館が主体的に動くべきだと話している。ボランティアが見つからなければ、職員が代読するなど、担当館でやるべきだ。

図書館 状況はこちらでも把握しております。これは私一人の判断でやりますとは言えないお話ですので、光が丘図書館に申し伝えさせていただきます。

利用者 お願いいたします。

利用者 私はこちらで何度も対面朗読をさせて頂いている。先日、毎回午前も午後も利用される方が、午後のボランティアがキャンセルになり、その後新しいボランティアが決まらず帰られたことがあった。他の図書館でもボランティアが決まらなかったという話を聞くことがある。これは貫井図書館の問題ではなく、光が丘図書館で一括で管理していることで緊急時に対応できないということに問題がある。私はボランティアが見つからないということは嘘だと思っている。区内に登録しているボランティアは100人以上いる。連絡がしきれなかったのだろうと思っている。ボランティアが見つからなかったという話をされるたびに「私の所へは連絡がなかった」と思っている。そういったところのシステムをもっと細やかに、光が丘図書館で一括で管理するのではなく、担当の館で緊急時の対応をできるようにして欲しい。本来、対面朗読というのはボランティアがすべきことではなく、図書館の仕事である。図書館は、健常者でも障害者でも読みたいという人がいればその本

の中身を開示するというのが、法律でやらなければならないと決まっていることだ。各図書館から光が丘図書館の方へ各館でやるということをご提案するというごことまでやって頂けるとありがたい。私は、貫井図書館は他の図書館より障害者サービスに理解があり、合理的配慮にもうまく動いて下さっていると思っているので、もう一歩踏み込んでそこまでお願いしたい。

図書館 こちらのお話は光が丘図書館ともさせて頂いて、今後の方向性をまた考えて頂けるよう、やれることを模索していきたいと思っております。また、私が個人で聞き及んでいることで少し補足をさせて頂きます。今年はコロナの関係でやって頂けるボランティアさんが減っていると伺っております。また、来ていただける館をご登録頂いているという事で、分母がたくさんいらしても貫井図書館には来れないとなっている方もいらっしゃると思います。また、曜日指定もあるとのことですので、そのあたりで見つかりづらいということも聞いております。

利用者 図書館で行事や展示など様々なことを行っていることを知って、頑張っていると思う。私も商売をしている中で、高齢者の方が多いので、図書館を使っているという人が多い。コロナで休館した際は、高齢者は時間を持て余して大変だったようなので、こういった行事を行ってくれるのは助かると思う。また、先ほど館長から美術館のリニューアルの話が出たが、去年、私と町会長の方で検討委員会に参加した。美術館のある街というコンセプトを伝えたが、それ以降コロナの関係もあるのかどこまで進んだかというのが分からないので、今日は美術館の方もいらっしゃるのではどの辺まで検討が進んでいるかをお聞きしたい。

図書館 それでは、この質問から最後のテーマの施設関係のお話に移らせて頂きます。こちらの質問に美術館の方からお話をお願いいたします。

美術館 去年、検討委員会から区の方へ先ほどおっしゃっていたコンセプトという形で提言を受け、それで進めていくという話になったと思います。計画では今年中に基本構想をまとめるという話でしたが、今回のコロナの問題で税収がかなり落ち込むということで、区の方では計画自体見直すと言っているようです。ではいつまでに基本構想をまとめるのかというと、それは現状まだ決まっていないとこちらでは聞いております。通常で行くと基本構想が固まり、基本設計、実施設計、工事と進んでいきますが、その計画自体にも見直しが入る可能性があるとのこと、今年中に基本構想を策定するという事は延期になったということになります。私からお話しできるのはこういった現状のみになります。

図書館 他に施設関係で何かご質問はあるでしょうか。

利用者 この辺りをよく散歩するのだが、この周辺は駐輪場が少ないこともあり、自転車がが多い。点字ブロックの上に自転車を置かないでくださいと注意書きはあるが、実際は停められてしまっている。来館者が多いことはいいことだが、設備的なものもしくは駐輪の取り扱いを考えてもらわないと正直邪魔になってしまうので、そのあたりを考えていただきたい。

図書館 大変申し訳ございません。向かいの高架下の駐輪場が2時間無料になり、ぜひそちらをご利用いただきたいと思いますと思っておりますが、面倒と思われている方が多いの

か、無理やり停める、歩道上に停める方が多いのが現状でございます。こちらでも整理をしておりますが、ずっとつきっきりでいることは出来ないため、人出が多い土日は今ご指摘いただいたようなことが発生しております。先日もまちづくり公社の方へご連絡をし、もう少し巡回を強化して頂けるようお願いをいたしました。こちらとしても整理と、掲示物での注意喚起、手前の敷地と歩道の境目に黄色の線を引いたりなど努力はしておりますが、なかなか難しいところがございます。もっと積極的に撤去をして頂ければ問題ある駐輪は減るかと思いますが、それも荒療治ですので悩ましい事です。高架下の駐輪場をご利用いただきたいということを周知できるよう、考えて参ります。

美術館 通常、図書館だけの利用者であれば埋まりきると思いますが、普段は美術館の利用者は電車での来館が多いですが、学校展など地域の大きな催しの際は自転車での来館が相当増えてしまいます。そういう時は学校の教員の方や美術館の方で高架下の駐輪場をご案内するよう努力はしておりますので、そのあたりはご理解頂ければと思います。また、再整備の際にどのくらい駐輪場を増やせるのかというのは、今後検討していくという形になると思っております。

利用者 出来るだけ放置自転車がないようにして頂きたい。

図書館 歩道上は図書館の管轄外になり勝手に手が出せないところになりますので、まちづくり公社と連携をとっていくという事になると思っております。

利用者 商店街でも駐輪問題でまちづくり公社と協議を行っている。高架下の駐輪場は2時間無料だが、実際図書館の周りの自転車は本当に利用者が置いて行っているのか、それ以外の人も置いてあるかもしれない。まちづくり公社の対策として、駅前朝9時から自転車を撤去している。最近は午後も行おうようになった。利用していない人の自転車の撤去を考えてみたらどうか。

図書館 数年前から撤去の数を増やしてくださいとお願いしたという経緯はありますが、頭の痛い問題でもありますので、これからも引き続き対策を考えていきたいと思っております。

利用者 図書館利用者のための駐輪場があつて、歩道は駐輪禁止。西側にも駐輪場がある、それらすべてを監視するわけにもいかない、難しいところだ。

利用者 2時間無料というのはどこかに書いてあるのか。

図書館 駐輪場に掲示しております。管轄するところが変わりました2時間無料になって2年ぐらいです。

図書館 お時間も迫っておりますが、他に何かございましたら。

利用者 練馬文庫連絡会は去年五十周年を迎え、こちらの視聴覚室をお借りして「練馬の文庫五十年展」というパネル展示と資料展示を行った。今年9月に実施報告をまとめた記念誌ができ、貫井図書館でも地域資料として置いて頂いている。貫井図書館で行った展示の様子などもカラーで載っているの、地域資料のところでご覧になって頂ければと思う。

利用者 大規模改修が延期になったのは残念だ。ブックスタートでは赤ちゃんと保護者の方に図書館の利用をアピールしているが、ここはワンフロアなので赤ちゃんと

利用するとなるとお母さんが気を遣うのかなというところがある。先ほど出た「練馬の文庫五十年展」でも、外の公園で遊んでいたお子さんと保護者の方がたくさん見て来てくれたのだが、その方たちも大人も同じフロアだと使いづらいのかなと感じた。平和台図書館が数年前に大規模改修をして、ワンフロアだったのが2階に自動ドアで仕切られた児童コーナーが作られたら、利用が増えた。大規模改修の際は、そのあたりも考えて頂けたらと思う。

図書館 ありがとうございます。関町図書館もリニューアルをして、あちらは一般書コーナーと児童コーナーは同じフロアですが、アクリル板で仕切りが入っており、子供の声などに配慮したつくりになっております。平和台図書館は授乳コーナーも広いですし、とてもいいと思っております。最近の図書館はそちらの方向になっていると聞いておりますし、大人向けに「静かにしたい人の部屋」というのを作っている図書館もあると聞いております。また新しい施設の図書館というのを私たちも提案していきたいと考えております。

それでは、これで終了とさせていただきます。ありがとうございました。